



国土交通大臣

中野 洋昌 殿

JR中央線三鷹駅立川駅間複々線化事業及び
多摩都市モノレール延伸の促進に関する要望

令和7年10月16日

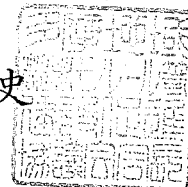
三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

会長 立川市長 酒井 大史



多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

会長 立川市長 酒井 大史



日頃から三鷹・立川間立体化複々線促進協議会及び多摩地域都市モノレール等建設促進協議会に対し御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

多摩地域は、420万人を超える都民の生活の場であるとともに、多様な産業の集積等により東京の発展を支える重要な地域であります。また、多摩地域の各市町村では、少子高齢社会における定住促進や観光振興等に取り組んでおり、公共交通の整備促進は、これらの施策を推進するための基盤となるものであります。

国の諮問を受け、平成28年4月に策定された交通政策審議会の答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」においては、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトとして、中央線の複々線化、多摩都市モノレールの延伸が位置付けられたところであり、両協議会といたしましても事業化に向けて、大いに期待しているところであります。

国の「今後の都市鉄道整備の促進策のあり方に関する検討会」において、都市鉄道整備に係る利用者負担制度の見直しの方向性が示されたことは、収支採算性に課題がある路線の課題解決として新たな仕組みづくりにつながると期待しております。

そこで、別記の事項につきまして、要望いたします。

記

1. 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会要望

多摩地域の持続的な発展のために、鉄道不便地域の解消のほか、中央線、青梅線及び五日市線の輸送力増強や都心へのアクセス時間の短縮、定時性の向上などに向けた取組が必要と考える。

そこで、利用者の利便性の向上、鉄道ネットワークの信頼性・安定性の向上、都市間連携強化など大きな効果が見込まれる、JR中央線三鷹駅立川駅間複々線化事業の実現に向けた法整備及び費用負担のあり方並びに青梅線立川駅西立川駅間三線高架化事業実現に向けた支援を要望する。

2. 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会要望

多摩地域構成団体の総意として、箱根ヶ崎方面、町田方面及び八王子方面の延伸整備の実現に向けて、インフラ外事業費に対する補助制度の一層の拡充や財源確保を含めた検討を進めることを要望する。

以上